

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームよしの村

作成日 平成 23 年 12 月 20 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	個別に墓参りやショッピング等を行っているが、まだ十分に実施できているとは言えない。	各利用者にとって馴染みの人や場所、またそれに対する想いを引き出し、関係継続を支援する。	最も身近な家族との関係をより密にするためホーム便りを活用する。その上で家族の協力を得ながら利用者の想いを実現させたい。	平成24年1月～12月
2	10	必ずしも介護計画に則った記録をチームとして取り組んでいるとは言えない。	介護計画(ケアプラン)に沿って個人の様子を記録することで個別ケアのふり返りができる。	各利用者の介護計画を理解し、目標達成に向けた取り組みの記録を意識して行う。	平成24年1月～12月
3	14	羞恥心への配慮に欠けるケアがまだあり利用者の立場でプライバシーの確保を考える余地がある。	入浴・排泄の支援及びプライベート空間の確保を利用者の立場で考え、取り組む必要がある。	トイレや浴室の扉・カーテンはロック、声かけをして開閉する。また、居室ではくつろいで過ごせるしつらえや活動を利用者と共に工夫する。	平成24年1月～12月
4	16	排泄の失敗による自尊心や意欲の減退を招いている利用者もいるのではないかと懸念はある。	排泄の失敗を減らし自尊心を保つことで、生活意欲や活動性の向上を目指す。	個別に排尿・排便リズムを把握し、それに合わせて声かけや誘導を行う。	平成24年1月～12月
5	20	個性あるプライベート空間となっている利用者はまだ少ない。一方、収集癖のある方の居室は衛生上の課題がある。	衛生面も考慮しながら、より多くの利用者の居室を個性のあるものにした。	個別の趣味活動を楽しんだり、自分の作品や家族写真を置いたりして居室に個性を持たせる。同時に、清潔に片付くよう理解を得ながら支援する。	平成24年1月～12月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。